

澤路家文書

澤路家は、高槻藩において御広間番や大目付などを勤めた石高百六十石の旧藩士家である。御広間番は、藩主御目見の際などに広間へ詰めた番役で、大目付は主に藩内の風紀管理を担当した役職であった。

後に高槻藩主となる永井直清が、寛永十年（一六三三）に入部した神足館（京都府長岡京市）と周辺の武家屋敷地を描いた「永井直清公御在所城州神足之図」（仏日寺蔵）には、神足館の東側の入口「淀口」の並びに「沢路久三郎」の屋敷が見られる。また、初代高槻藩主・永井直清の家臣団を記録した『御当家分限帳』（大北家文書、『しろあとだより』、第六号 <http://www.city.takatsuki.osaka.jp/ikkrweb/Browse/material/files/group/104/ck.shiroato-dayori-6.pdf>）に、石高百石の納戸役・澤路武兵衛が記されている。また、江戸時代末期の高槻藩士を記録する『高槻藩分限帳』（野見神社蔵）には、澤路兼五郎の事績が記され、中小姓から御広間番、大目付などを務めたとある。澤路家は、永井直清の神足館入部から高槻入城、そして幕末に至るまで歴代の永井家に仕えて、系図等から一族の人名が判明する貴重な事例である。

澤路家文書は、明和九年（一七七二）から明治二十二年（一八八九）に至る、総数十九点の文書群で、その内訳は、近世文書が十一点、近代文書八点である。

近世文書の中には、澤路家の由緒を示す家譜（文書番号4）がある。「澤路由緒書并家系」（文書番号16）とほぼ同文であるが、「由緒書」には朱書

きの書き込みがある。その家

系図は明治期まで記録される。

由緒書によると、先祖の澤路武兵衛家重は当初北条氏直に仕え、後に初代高槻藩主・

永井直清の父直勝に仕えたところ。天正十二年（一五八四）

の小牧・長久手合戦で直勝が池田勝入を討取った際に従軍していたことや、慶長五年（一

六〇〇）の関ヶ原合戦や慶長十九年（一六一四）と二十年の大

坂の陣への参戦を記している。

また、この翌年に、家重は直勝から「無二無三四字旗」を賜ったとある。

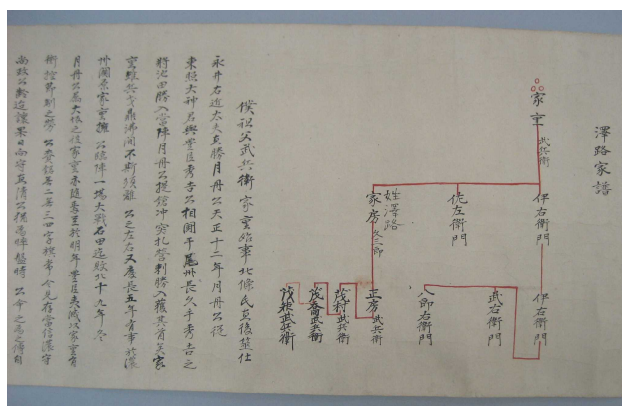
澤路家から当館へ寄贈された旗指物には、永井家の一文

字三星紋と、「無二無三」の「さ」

と染め抜かれている。直勝か



「無二無三」の旗

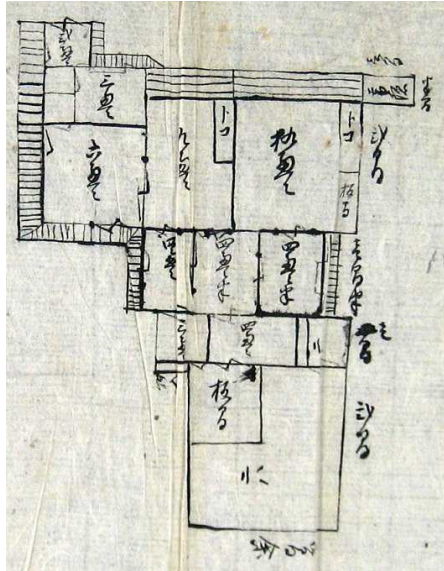


文書番号4 澤路家譜

ら拝領した旗かは不明だが、永井家との関係を示す資料として貴重である。高槻藩永井家との関係については、直勝の命により、家重が当時一歳であった直清と、四歳の兄・尚政の「傳」（養育係）を任されたとある。その後、家重は九十九歳で生涯を閉じた。家重の三男・久三郎家房は、十四歳の時に直清の元で扈從（こししょう）として仕え始めたという。先述の神足館図に記載のあった人物である。澤路家は、武兵衛家重が永井直勝に仕え、子の久三郎家房は直勝の子の直清に仕えた。家房没後は、武兵衛正房が跡をついだ。

澤路家の役職を示す史料としては、嘉永七年（一八五四）の家督相続状（文書番号3）がある。亡父・郷助の家督高百六十石と、給人格・御広間番を兼五郎が相続する内容である。

その他は、澤路家の屋敷間取図（文書番号8・9・10）や、文化十四年（一八一七）の沢路郷助屋敷帳（文書番号2）などである。江戸時代後期の高槻城を描いた絵図（当館蔵）には、三の丸御殿の東側に「沢路

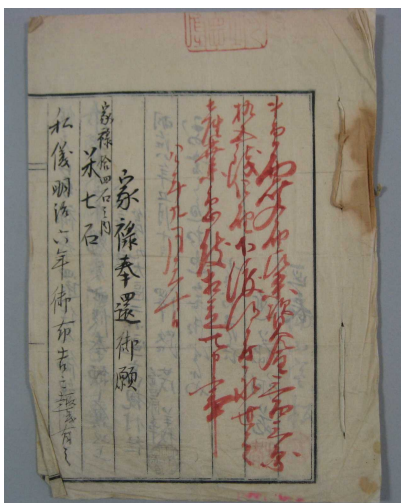


文書番号9 屋敷間取図

兼大（五カ）郎」屋敷があり、これに該当すると思われる。間取図には「一百三十五番屋敷」とあり、屋敷ごとに番号を振り分けていたことが分かる。高槻藩士がどのような間取りの屋敷で暮らしたのかが窺える資料である。あわせて、永井家系図や将軍家の精進日、歴代高槻城主などを記した摺物（文書番号5）や、甲冑や武具を挿絵入りで記した図面（文書番号1・7）、陣羽織や扇などを記した摺物（文書番号11）もある。包紙（文書番号6）は、文化九年版の江戸絵図の裏紙を使用している。ちなみに、江戸南町奉行所（現在の東京都千代田区有楽町）そばには永井家江戸藩邸が記されている。（現在の東京都千代田区有楽町）そばには永井家江戸藩邸が記されている。

近代文書からは、澤路家の明治期における事跡を辿ることができる。澤路家人別書上（文書番号15）からは、澤路茂義が明治二年（一八六九）十二月、禁裏火の見役に任命されたこと、「家禄奉還御願」（文書番号12）からは、明治六年（一八七三）の太政官布告第四二五号に基づき、家禄十四石の内、米七石を奉還したことが窺える。履歴書（文書番号17）は、澤路茂徳の出身校をはじめ、明治九年（一八七六）から大正九年（一九二〇）までの職務歴を記録している。旧高槻藩士が明治維新後、どのような生涯を送ったのかを知る好史料といえる。

（菅原義行）



文書番号12 家禄奉還御願

澤路家文書目録

近世

文書番号	一括状況	文書名	年号	月	日	西暦	差出	宛名	形状	数量	法量	整理番号	備考
1	箱	〔武具図、武具短歌〕	明和9	1	—	1772	日本橋通一丁目 須原屋茂兵衛版	—	継紙	1	30.4×89.1	01-08	・摺物
2	箱	沢路郷助屋敷帳	文化14	3	24	1817	金原順十郎、伴崎右衛門	—	堅帳	1	16.4×24.0	01-12	・座敷、次之間等の畳枚数、天井素材等書上二付
3	箱	〔家督相続、御給人御広間番仰付状〕	嘉永7	閏7	20	1854	—	沢路兼五郎	一紙	1	36.0×48.0	01-05	・端裏書に「嘉永七寅年」「茂條」とあり・家督高百六拾石二付
4	箱	澤路家譜	—	—	—	—	—	—	卷子	1	27.0×135.2	01-02	
5	箱	〔永井系図、公義御精進日、御家御精進日、高槻城主、御両歌等覚書〕	—	—	—	—	—	—	一紙	1	36.0×52.2	01-03	・摺物
6	箱	〔包紙〕	—	—	—	—	—	—	包紙	1	60.0×87.5	01-04	・包紙ウハ書「伊賀町 高槻県 服部姓」等とあり・〔江戸絵図〕文化9年江戸日本橋南一丁目須原屋茂兵衛版の摺物の裏紙を使用
7	箱	〔武具等図〕	—	—	—	—	—	—	堅帳	1	27.5×18.9	01-07	・甲冑、弓矢等各部分名称の書付・他に旗、陣笠、セイロウの図などあり・彩色付
8	箱	〔澤路家屋敷間取図〕	—	—	—	—	—	—	一紙	1	24.6×33.7	01-09	・「ハリカミ い百三十五番屋澤路茂義」とあり・写カ
9	箱、折込	〔屋敷間取図〕	—	—	—	—	—	—	一紙	1	24.0×32.0	01-10-1	・「い百三拾五番」とあり・澤路家の屋敷図
10	箱、折込	〔屋敷間取図〕	—	—	—	—	—	—	一紙	1	23.7×31.6	01-10-2	
11	箱	〔陣羽織、扇等図〕	—	—	—	—	—	—	一紙	1	30.0×42.4	01-16	・他に母衣、外幕、鎧等の図あり・摺物

近現代

文書番号	一括状況	文書名	年号	月	日	西暦	差出	宛名	形状	数量	法量	整理番号	備考
12	箱	家禄奉還御願（家禄拾四石之内米七石奉還二付）	明治8	5	10	1875	大阪府士族 第九大区二小区高槻村住 澤路兼五郎事 茂義（印）	大阪府権知事渡辺昇殿	堅帳	1	18.6×26.4	01-13	・「右（高槻村）村戸長近藤綱蔵（印）、区長福山寒松（印）」の奥書あり・朱書きで大阪府からの返事あり
13	箱	旧高槻藩士族就産事業二付買入地所概略一覧表	(明治)22	—	—	1889	調査委員芥川勝壽、井上潜蔵、松村長久、湯浅宗実、山本熊五郎	—	一紙	1	26.5×40.5	01-06	・コンニャク版
14	箱	〔証書額面、金禄証券等金額書上〕	10	11	—	—	澤路茂徳書	—	堅帳	1	17.3×24.9	01-14	
15	箱	〔澤路家人別書上〕	(明治)	—	—	—	—	—	一紙	1	24.3×33.7	01-11	・澤路茂義家の人名、年齢など書上・朱書きあり
16	箱	澤路由緒書并家系	—	—	—	—	—	—	卷子	1	31.0×204.7	01-01	
17	箱	履歴書（士族澤路茂徳履歴二付）	—	—	—	—	—	—	堅帳	1	26.7×19.5	01-15	・学業、業務など書上・内容年代（文久2年8月6日～大正9年10月11日）・「大阪府三島郡三島村大字総持寺第四拾五番屋敷」とあり
18	箱	〔葉紙〕	—	—	—	—	—	—	一紙	1	21.5×51.1	01-17	
19	箱	〔白紙〕	—	—	—	—	—	—	一紙	1	34.9×24.5	01-18	